

平成17年度 一般財源研究費傾斜的研究費(全学分)研究報告書

研究テーマ [① 大都市の課題解決につながる研究]

研 究 課 題 名	成熟化情報化時代における大都市のQOL向上とその政策に関する学際的研究	
研究者または研究代表者名	所属部局名	職 名
中林 一樹	都市環境学部 (都市科学研究科)	教授
研究分担者名	部局名・所属研究機関名	職 名
合計 48 名	別紙参照	
研究実績の概要		
本研究は49人の学部を越えた学際的な研究組織（2班8グループ）を構成し、大都市社会の安全・健康・快適・利便に関わるQOL（生活の総合的な質）の向上に果たす規程要因の解明とQOL向上の政策的技術的アプローチの提案をめざした。 （１）この目的に対して当該年度では以下の研究を進めてきた。 「社会環境からのQOL向上」に関する研究では、①大都市のコミュニティレベルでのQOLに関して、社会階層構造・社会的ネットワーク・コミュニティの形成過程からの分析とともに、住民の地域活動の実態分析から活動拠点であるコミュニティ施設配置モデルの構築をめざした。②都市ガバナンスの再編問題の視点からは地域福祉計画の策定過程と住民協働で取り組む街づくり条例の策定課程尾の実践的研究を進めた。③生活空間からのQOL研究としては市街地景観の視点場による評価の違いを実証するとともに、④都市環境マネジメントでは、廃棄物処理の有料化制度の効果に関する研究の着手し、制度実施にあたっての課題を明らかにした。 「都市の安全健康からのQOL向上」に関する研究では、⑤災害に強い都市づくりをめざす都市防災研級では、内閣府・東京都の研究に参加しつつ直下地震の被害想定とそれに対する防災対策の体系化を進めるとともに、都市復興問題への実践的な研究も進めた。⑥災害時の弱者支援研究として、中越地震の事例研究から、感染症問題や高齢者対応など新しい時代の課題を論考するとともに、ITによる支援技術について実証的取り組みを始めた。⑦交通モビリティの向上をめざす研究では、大都市及び過疎地域での高齢者を対象とする交通QOLの比較研究に着手した。⑧生活・健康水準からのQOL研究では、多摩市でのデータから長寿化への主観的健康観の効果を実証し、外国との比較を念頭にメンタルヘルスの研究を進めた。 （２）社会科学と工学からの取り組みとなるこの研究では、理学的研究とは異なり、単年度研究で大発見という成果は期待できないが、これまでの研究の蓄積の上に、成果を積み重ねてきていることは、自己評価下欄も明らかである。 （３）大学の競争力としては、①コミュニティ研究、④廃棄物研究、⑤都市復興研究、⑦交通モビリティ研究、⑧健康水準研究では、評価されている。特に⑤では受賞している。 （４）本研究は、学際研究をめざして49人の参加者に対して1200万円の研究費では、十分な研究の配分とはならず、ほぼ住めての研究が、他の研究費研究と重複させて行わざるを得なかった。その結果、本研究に参加しつつも研究費を返上された研究者もあった。 （５）研究成果の公表では、学生性をめざして公開研究会を7回開催したが、多忙な研究者が多く、研究者の参加は少なかった。個別にはs、学会発表などを進めているが、当該エンドの成果は翌年度の学会での公表も含めて、今後も展開されよう。		

研究発表 [雑誌論文発表、図書、学会発表等]			
著者（講演者）	論文題目（発表題目）	発表誌（発表大会名）	年月
秋山哲男、吉田樹	都市部におけるDRTの適用可能性―乗合タクシーの実証実験―	日本福祉のまちづくり学会第8年全国大会概要集、p. 120-123	2005
秋山哲男	高齢者・障害者のSTサービスと運営協議会の課題と展望	日本福祉のまちづくり学会第8年全国大会概要集、p. 123-126	2005
秋山哲男、清水、宮井、沓名	観光ユニバーサルデザインの課題	日本福祉のまちづくり学会第8年全国大会概要集、p. 167-170	2005
秋山哲男、澤田大輔 藤井直人他	高齢者・障害者の交通政策・計画に関する国際比較」	総合都市研究第85号 pp. 5-16	2005
沢田大輔、秋山哲男	カナダの甲乙運営協議会のアクセシビリティに関する政策とその運用の仕組み	総合都市研究第85号、 pp. 17-30	2005
本田恵子、秋山哲男	バリアフリー法による基本構想の推移と市民参加の展開について	総合都市研究第85号、 pp. 31-42	2005
吉田 樹、秋山哲男	過疎地域におけるモビリティと公共交通の現状分析	総合都市研究第85号、 pp. 43-55	2005
新谷陽子、原 文宏 秋山哲男	札幌中心市街地の冬の歩行者転倒事故―現状と今後の対策―	総合都市研究第85号、 pp. 57-68	2005
山口亨、秋山哲男他	ネットワークインテリジェンスによる災害時支援システムの開発	総合都市研究第85号、 pp. 69-77	2005
秋山哲男	ユニバーサルデザインと交通バリアフリー法の課題	土木計画学研究講演集、 Vol. 31	2005
吉田 樹、秋山哲男	都市部におけるDRTシステムとその適用可能性」、	土木計画学研究講演集、 Vol. 31、	2005
中林一樹（監訳）	『巨大都市と変貌する災害』	古今書院、全386頁、	2006
中林一樹（共著）	『安全・安心のまちづくり』	日本建築学会編まちづくり教科書No. 7、丸善	2005
中林一樹（監修・著）	『大地震東京危険度マップ』	朝日出版、全80頁	2005
中林一樹	『図説 東京直下地震』	徳間書店、全158頁	2005
早坂 誠、中林一樹	火災に関わる地域特性の解明に関する研究―東京・板橋区を対象として―	地域安全学会論文集No. 7、pp. 43-52	2005
吉田祐輔、佐藤大介 市古太郎、澤田雅浩 中林一樹	新潟県中越地震発生後半年間の災害対応と市街地空間利用について―新潟県川口町を事例として―	地域安全学会論文集No. 7、pp. 179-188	2005
市古太郎、饗庭 伸 吉川仁、高見澤邦郎 中林一樹	震災復興まちづくり模擬訓練による地域協働型事前復興準備の可能性―新小岩地区における実践と参加者調査から―	地域安全学会論文集 No. 7、pp. 385-394	2005

石川永子、吉川忠寛 福留邦洋、中林一樹	住居移転を伴う復興における被災者の対応行動と環境変化の受容に関する研究－トルコマルマラ地震を事例に－	地域安全学会論文集 No. 7, pp. 443-452	2005
照本清峰、王雪文、 中林一樹	台湾における車籠埔断層沿線区域の建築制限の展開と住民の対応	都市計画論文集 No. 40, pp. 703-708,	2005
饗庭 伸、市古太郎 吉川仁、高見澤邦郎 中林一樹	まちづくり技術を用いた震災復興まちづくり模擬訓練の報告－その2 葛飾区新小岩での実践を通して－	地域安全学会梗概集No. 16, pp. 77-80	2005
中林一樹	阪神・淡路大震災以降の東京における震災対策の展開と課題－東京都の震災対策を中心に－	不動産研究Vol. 47, No. 1, pp. 24-31	2005
中林一樹	防災まちづくりの将来展望－市民と共同する防災まちづくりの実践をめざす－	消防科学と情報 No. 79, pp. 20-25,	2005
中林一樹	想定される「首都直下地震」への対応－阪神・淡路大震災、中越地震と比較して－	桜門春秋 No. 103, pp. 25-31,	2005
中林一樹	新潟県中越地震から東京が学ぶべきこと	自主防災No. 184, pp. 6-9.	2005
中林一樹	震災対策とは何か－防災風味のまちづくり・ひとづくりのススメ－	消防研究No. 14, pp. 2-11,	2005
中林一樹	災害に強いまちづくり・ひとづくり－首都直下の地震を迎え撃つために－	防災 No. 346, pp. 14-19,	2005
中林一樹	災害に強い東京を如何にしてつくるか	都政新報No. 439, pp. 4-9,	2005
中林一樹	「スーパー都市災害」としての首都直下地震とその対策の方向	河川No. 706, pp. 8-15,	2005
中林一樹	「待ったなしの住宅耐震化と密集市街地対策－“大地動乱”の21世紀を乗り切るために－	ガバナンスGovernance、Vol. 17-9, pp. 29-31	2005
中林一樹	台湾の自然を生かし共生をめざす復興村おこし－921台湾大震災からの復興まちづくり「社区重建營造」に学ぶこと－	Bio City, ビオシティ No. 31, pp. 13-21,	2005
中林一樹	自治体の防災対策と災害支援－阪神・淡路大震災と中越地震に学び、首都直下に備える－	とうきょうの自治 No. 56, pp. 2-9	2005
中林一樹、澤田雅浩 市古太郎	新潟県中越地震の災害特性と復興課題	地域安全学会梗概集No. 16, pp. 37-40	2005
大杉 覚	地域機関の活性化と自治体内分権	国際文化研修	2006
大杉 覚	合併市町村の人材育成について	月刊自治フォーラム	2006
大杉 覚	自治体補助金改革と行政評価の課題	会計検査研究、第32号	2006
大杉 覚	自治体職員の経営マインド	住民行政の窓、第18巻2号	2006
大杉 覚	都区改革の再構築	都政研究	2005
大杉 覚	合併後のまちづくりと『地域発の自治創造』	月刊自治フォーラム	2005

大杉 覚	都区制度改革	地方自治職員研修	2005
Jun Kawakatsu, Toru Yamaguchi	Networked Robots on Ontological Networks Using Humatronics 1-st.	Slovak Japanese Semina ron Intelligent System s, Herl'any, Slovak Re public, 印刷中	2005
木山敬太、山口 亨	Humatronics Step2 ネットワークインテ リジェンスをを用いたヒューメインビー クルシステム	第21回 ファジィシステ ムシンポジウム講演論文 集、pp.133-136	2005
岸波浩之、木山敬太 山口 亨、中里 潤	i-mobilityの開発	第1回 横幹連合コンフ アレンス論文集(CD-ROM) pp.161-162	2005
木山敬太、山口 亨	i-mobilityにおける人間支援システム	SICE System Integratio n Division Annual Conference (SI2005), CD-ROM, pp.665-666	2005
羽貝正美	自治の再生と都市経営ー住民自治を育む しくみづくりとその単位ー	『まちづくり研究はちお うじ』pp.2-3.	2005
羽貝正美	「新しい社会」像と「新しい基礎自治 体」像ー自治体の再編と住民自治の再構 築ー	総合都市研究、第84号、 pp.89-101.	2005
玉川英則	フランスのGIS推進と地理情報学研究 ー IGNを中心にー	総合都市研究、第84号、 pp.17-24	2005
服部祐司、玉川英則	視点場の類型化による都市景観解析 ー 国分寺崖線の高層マンションを対象にー	地理情報システム学会講 演論文集Vol.14, pp.51 5-520	2005
玉川英則	都市と犯罪の実態	日本不動産学会誌19巻2 号、pp.101-106	2005
岩楯敏広	逗子地域の表層地盤の地震応答特性に関 する研究（地震観測と数値解析）	平成18年度地盤工学会 全国大会	2005
岩楯敏広、他	地上・地下近接構造物の地震時相互作用に 関する解析的研究ートンネル離間距離による 応答特性ー.	平成18年度土木学会全 国大会	2006
岩楯敏広、他	地上・地下近接構造物の地震時相互作用に 関する解析的研究ートンネルの径の違いによる 応答特性ー	平成18年度土木学会全 国大会	2006
岩楯敏広、他	Study on the dynamic structural charact eristics of ancient timber -Yingxian Wood en Pagoda-	GeoShanghai2006	2006
岩楯敏広、他	Study on Seismic Characteristics of the Ground and Structure in the Western of Liao Ning Province(Jinzhou City)	GeoShanghai2006	2006
森岡清志	少子・高齢社会の展望と戦略	市町村アカデミー研究叢 書第7巻『地域福祉サー ビス』ぎょうせい	2006

星 旦二(艾斌)	中国の都市高齢者における主観的健康感の構造に関する研究	民 族 衛 生 ,Vol.72(1)3-14.	2006
星 旦二、渡部月子 他	都道府県別平均寿命の較差に関する研究	運 動 と ス ポ ー ツ の 科 学,Vol.11(1)pp.61-68.	2006
星旦二、山本千紗子 佐藤直美	家族が行う認知症判断の確かさ	認知症ケア学会, Vol.4(3), pp.496-506.	2005
星旦二、山本千紗子	在宅高齢者の知的能動性低下に関する家族の受け止め方ー地方10町村調査と都市部T市調査による比較ー	Health Sciences, Vol.21(3) pp.303-315.	2005
星 旦二	生活満足度規定要因	健康教育学会,Vol.55(1) pp.25-29.	2005
星 旦二	在宅高齢者の外出規定要因	日 本 公 衆 衛 生 学 会 , Vol.55(1) pp.25-29.	2005
Tanji Hoshi	Healthy Japan 21- objectives and strategies.	New challenges of Health Promotion Activities in Korea, Korean society for health education and promotion. pp.57-88.	2005
Tanji Hoshi	Japanese case of community partnership for healthy city Projects.	New challenges of Health Promotion Activities in Korea, Korean society for health education and promotion :pp.199-230.	2005
Toshihiko Takahashi, Takashi Hasegawa and Tanji Hoshi	Self-rated Health and Social Factors in the Urban Japanese A study of Structural Equation Modeling(SEM)	International Journal of Urban Sciences. Vol.9(2), pp.67-77.	2005
星旦二、栗森須賀子	IADLの自立した在宅高齢者の主観的幸福感と生活満足度の関連要因の検討	健 康 科 学 学 会 誌 . Vol.20(3) pp.265-273	2005
竹宮健司、横田、角田、吉川、倉斗	既存ストック活用によるコミュニティスペースの再編成手法に関する研究 多摩市公共施設におけるケーススタディ	日本建築学会関東支部「研究報告集Ⅱ」, pp.97-100,	2006.3
竹宮健司	英国の小児ホスピスにおける療養環境の現況	第6回子どもの療養環境研究発表会,pp.9-11	2005
竹宮健司、佐藤広明	集合住宅団地の高齢化および高齢者の生活行動と住棟環境との関連についてー多摩ニュータウン諏訪・永山地区におけるケースステディー	日本建築学会関東支部「研究報告集Ⅱ」, pp.17-20,	2005
竹宮健司、北村道一	住宅改修型宅老所における利用者の生活展開に関する考察ーY宅老所におけるケーススタディー	日本建築学会関東支部「研究報告集Ⅱ」, pp.5-8,	2005
菅又昌実他4名	東京都における感染性微生物の封じ込め状況調査	日本バイオセーフティー学会	2005

菅又昌実他3名	日常生活必需品の開封についての問題点及び開封に関わる手指握力の加齢、身体障害程度による変化	日本バイオメカニズム学会	2005
菅又昌実、山折潤子	出生季節から見た年齢別手指握力について	日本衛生学会	2005
菅又昌実他3名	少子化の背景に生物学的因子の影響はないのか	日本衛生学会	2005
菅又昌実、山折潤子	身体障害者、及び高齢者を含む年齢別健康者における手指握力の調査	日本衛生学会	2005
菅又昌実、中林一樹、他5名	大規模災害を想定した東京都の病院、医科学研究系施設における感染性微生物の封じ込め状況調査	平成15－17年度科学研究費補助金基盤研究B成果報告書 pp.1-13	2006・3
菅又昌実、他3名	大規模災害を想定した健康・災害弱者における日常生活必需品使用時の利便性向上のための基本調査	平成15－17年度科学研究費補助金基盤研究B成果報告書 pp.14-24	2006.3
菅又昌実、他3名	大規模自然災害時における衛生水準の低下と二次災害としての感染症発生について－特に飲料水の安全性確保の重要性について	平成15－17年度科学研究費補助金基盤研究B成果報告書 pp.25-34	2006.3
菅又昌実	衛生学から見た旅行医学の現状	クリンネス 1-6	2005
菅又昌実	インドネシア共和国西ジャワ州山岳住民集落における衛生水準の基本調査	バイオメディカルサイエンス研究会会誌 17(2) pp.27-31	2005
Osamu Nitta, Kazuo Nakajima, et al	The relationships of family need of mothers of schoolaged children with cerebral palsy to parenting strain and mental health	3 rd World congress of the International Society of Physical and Rehabilitation Medicine	2005
新田 收、他4名	起立支援型手すりが起立時身体負荷におよぼす影響	第26回 バイオメカニズム学術講演会	2005
新田 收、他4名	避難所生活に対する不安感と住民属性の関係	総合都市研究(85)	2005
白坂史樹、新田 收	学齢脳性麻痺児母親における腰痛発生要因の検討	理学療法ジャーナル	2005
上野 淳、加藤田歌松本真澄	団地住宅における高齢者居住の様態と居住環境整備条件について－多摩ニュータウン団地居住高齢者の生活像と居住環境整備条件に関する研究－その1	日本建築学会計画系論文集, No.600, pp9-16	2006.02
上野 淳	高齢社会に生きる 住み続けられる施設と街のデザイン	鹿島出版会（全178頁）	2005.10
上野淳、坊上南海子山田あすか	多摩市における高齢者デイサービスセンターの運営プログラム・活動の実態と利用構造	日本建築学会技術報告集, No.22, pp409-414	2005.12
上野 淳(斉藤 潔)	東京都における公立小中学校と地域公共施設との複合化事例における建築概要に関する実態調査	日本建築学会技術報告集, No.21. pp249-254	2005.06

平成17年度 全学的傾斜配分研究
「成熟化情報化時代における大都市のQOL向上とその政策に関する学際的研究」
研究分担者一覧

研究分担者	部局名	職名
1 玉川 英則	都市環境学部 建築都市コース	教授
2 羽貝 正美	都市環境学部 建築都市コース	教授
3 萩原 清子	都市環境学部 建築都市コース	教授
4 松本 康	都市環境学部 建築都市コース	教授
5 森岡 清志	都市教養学部 人文・社会系 社会学コース	教授
6 中尾 啓子	都市教養学部 人文・社会系 社会学コース	准教授
7 玉野 和志	都市教養学部 人文・社会系 社会学コース	准教授
8 小林 良二	都市教養学部 人文・社会系 社会学コース	教授
9 稲葉 昭英	都市教養学部 人文・社会系 社会学コース	助教授
10 和気 純子	都市教養学部 人文・社会系 社会学コース	助教授
11 我妻 学	都市教養学部 法学系 法律学コース	教授
12 大杉 寛	都市教養学部 都市政策コース	教授
13 伊藤 正次	都市教養学部 法学系 政治学コース	准教授
14 三上 岳彦	都市環境学部 地理環境コース	教授
15 杉浦 芳夫	都市環境学部 地理環境コース	教授
16 若林 芳樹	都市環境学部 地理環境コース	准教授
17 坪本 裕之	都市環境学部 地理環境コース	助手
18 泉 岳樹	都市環境学部 地理環境コース	助手
19 小泉 明	都市環境学部 都市基盤環境コース	教授
20 稲員 とよの	都市環境学部 都市基盤環境コース	准教授
21 荒井 康裕	都市環境学部 都市基盤環境コース	助手
22 吉川 徹	都市環境学部 建築都市コース	助教授
23 松本 真澄	都市環境学部 建築都市コース	助手
24 秋山哲男	都市環境学部 建築都市コース	教授
25 星 旦二	都市環境学部 建築都市コース	教授
26 市古 太郎	都市環境学部 建築都市コース	研究員
27 鈴木 浩平	都市教養学部 理工学系 機械工学コース	教授
28 岩楯 徹広	都市環境学部 都市基盤環境コース	教授
29 長嶋 文雄	都市環境学部 都市基盤環境コース	教授
30 大口 敬	都市環境学部 都市基盤環境コース	准教授
31 野上 邦栄	都市環境学部 都市基盤環境コース	准教授
32 小根山 裕之	都市環境学部 都市基盤環境コース	准教授
33 高見 淳史	都市環境学部 都市基盤環境コース	研究員
34 高見澤 邦郎	都市環境学部 建築都市コース	教授
35 西川 孝夫	都市環境学部 建築都市コース	教授
36 上野 淳	都市環境学部 建築都市コース	教授
37 竹宮 健司	都市環境学部 建築都市コース	准教授
38 饗庭 伸	都市環境学部 建築都市コース	研究員
39 山口 亨	システムデザイン学部 情報通信システム工学コース	教授
40 川上 満幸	システムデザイン学部 経営システムデザインコース	教授
41 新田 収	健康福祉学部 理学療法学科	教授
42 勝野 とわ子	健康福祉学部 看護学科	教授
43 河原加代子	健康福祉学部	教授
44 小倉 泉	健康福祉学部 放射線学科	准教授
45 川島 美保	オープンユニバーシティ 人文系	教授
46 菅又 昌実	オープンユニバーシティ 身体健康栄養	教授
47 石川 尚子	短期大学	助教授
48 和田 清美	都市教養学部 人文・社会系 社会学コース	准教授